

## □ 三芳野神社

## —とうりゃんせ発祥の地

「お城の天神さま」と親しまれる三芳野神社は平安初期の創立と伝わり、「伊勢物語」の在原業平が訪れたという「入間の郡三芳野の里」といわれ、旧川越城内の天神曲輪に位置する。元は四方を土塁と堀に囲まれ、細い参道が曲折しつづ聖域に通じていたことから童唄「とうりゃんせ」発祥の地ともいわれている。県指定建造物となっている権現造りの社殿は、寛永元年(1624)に城主酒井忠勝が幕府の命を受けて造営した。

